

市議会だより

いちき 串本野



「夏の思い出」(撮影者：徳田 知恵子)

No. **104**
2025.11.5

9月定例会 (8月28日～9月30日)

- | | | |
|------------------|-------|--------|
| ○特集「選挙・投票に行こう!!」 | ・・・ | P2・3 |
| ○6人の議員が市政を問う | ・・・ | P4 |
| ○令和6年度会計決算審査 | P7～10 | |
| ○先進地行政視察報告 | ・・・ | P12・13 |
| ○補正予算の審査 | ・・・ | P5・6 |
| ○表決結果 | ・・・ | P11 |
| ○12月定例会日程案 | ・・・ | P14 |

特集

選挙・投票に行こう！！

市議会だよりでは、市民の皆さんに政治、特に市政に興味・関心を持ってもらうため、表紙写真の公募や特集として市議会の仕組み及び選挙制度解説に取り組んできました。

一方、興味・関心のバロメーターである選挙の投票率が世代別では低下の一途をたどっています。（グラフ参照）今回の市議会だよりでは、18歳以上の市民の皆さんに投票所へ足を運んでいただきたい思いを届けます。

【 まちの声 】

市民の方々は『選挙』について、どのように考えているのでしょうか。
いろんな世代の皆さんの声を聞いてみました。

～《子育て》世代から～

- 同世代で相談できる候補者がいないので言いにくい。
- 候補者の実績や政策などを分かりやすく見比べるものがあれば選択しやすい。
- 投票した市民への特典があれば、投票率もあがるかも。
- ネット投票など、もっと投票をしやすくしてほしい。



～《高齢》世代から～

- 毎回投票している。自分の意思を示すことは大事なこと。
- 体力的にわざわざ投票所まで行けない。もっと便利な投票制度があれば良い。
- 公開討論会のような、それぞれの候補者の生の声を聞けなくなった。
- 公約などは紙面がわかりやすい。デジタルはついていけない。

～《学生》世代から～

- 直接誰も知らないのでは、誰を選択していいかわからない。
- 18歳から選挙ができると言われても、よくわからないので一人では決められない。
- 選挙への呼びかけが看板や回覧じゃわからない。公式LINEなどは見る人が多いと思う。
- それぞれの候補者が、同じテーマでどんなことを実現したいのか等比較できたら良いと思う。
- 活字では難しく感じる。動画やSNSなどでわかりやすくしてほしい。



世代間で手段に対するギャップはあるものの、どの世代からも選挙に対しての想いは伝わりました。

制度改正を希望するご意見や発信の在り方など、本市議会として議論すべく新たな課題もみえて
今後も、いちき串木野市議会に興味・関心をもってもらえるように改選後も取り組んでまいります。



《 今回の投票について 》

◎有権者数 21,736 人（9/1 現在） ◎人口 25,463 人 （13,132 世帯） （9 月末日現在）

◎投票時間・投票所の開閉

- ◆当日（11/9（日））の投票所は、午前7時に開き、午後6時に閉じます。
※ 各会場、一番目の投票者は、投票箱に何も入っていないことを確認してもらいます。
- ◆期日前投票所（11/3（月）～ 8（土））は、午前8時30分に開き、午後8時に閉じます。
※ 会場は、2箇所（市来庁舎・中央公民館）

◎投票所入場券・投票所案内

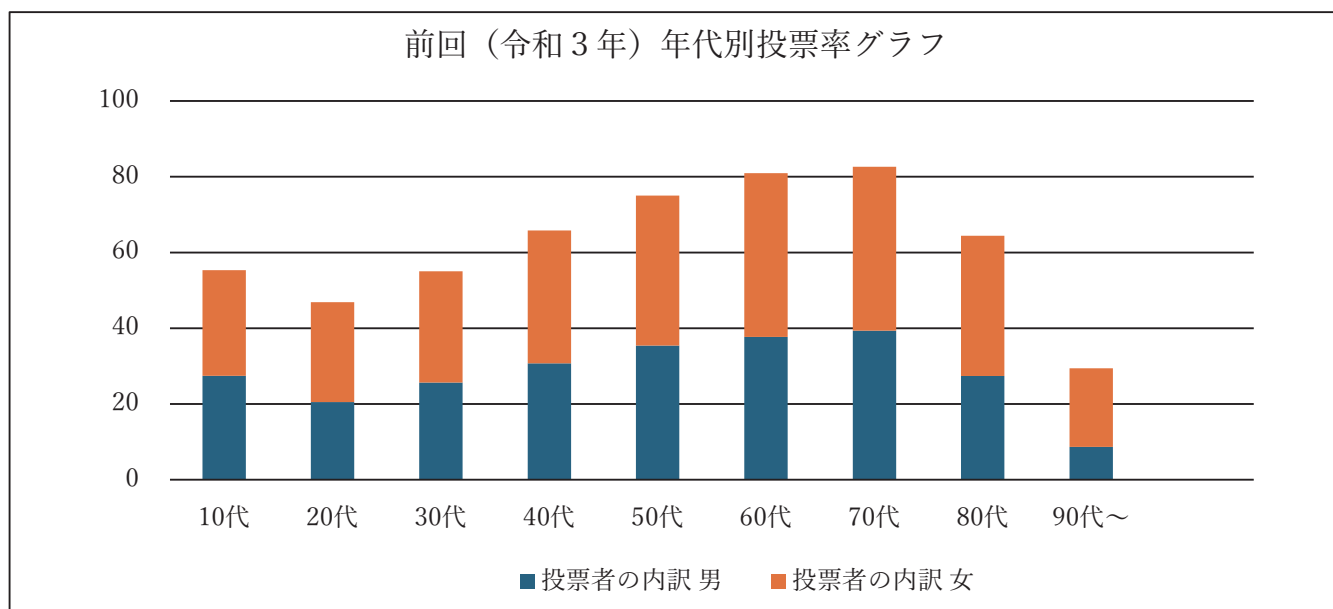
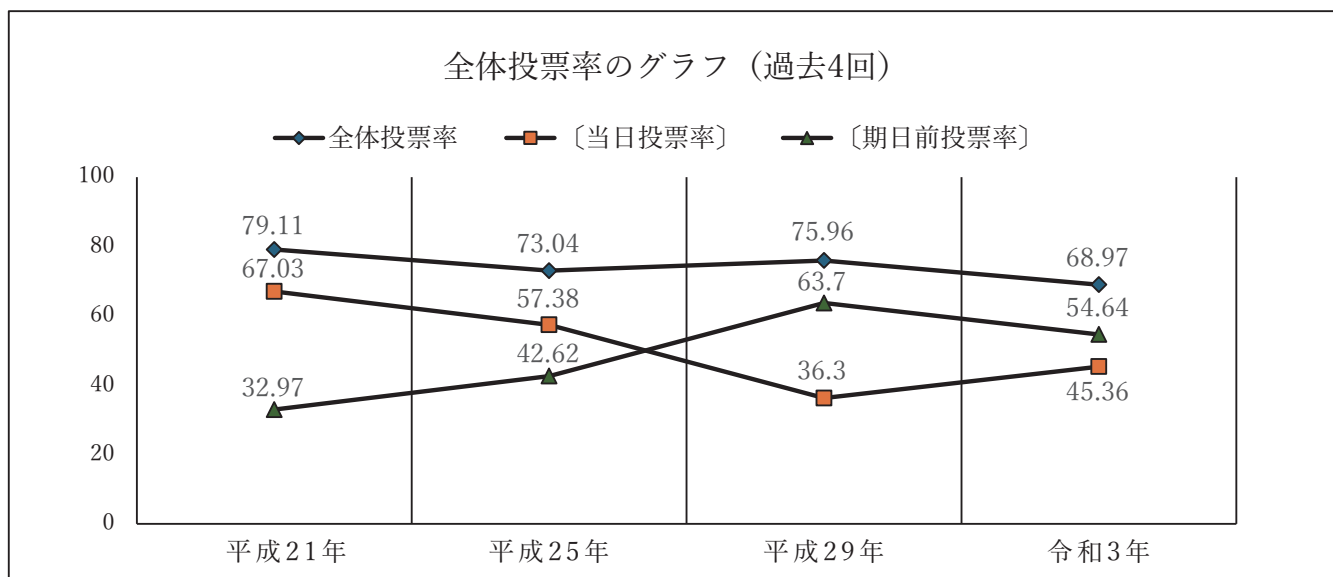
有権者には、投票日前に入場券や案内の通知が郵送されます。投票の際に持参してください。
入場券がなくても投票はできますが、本人確認に時間がかかる場合がありますので、マイナンバーカードや運転免許証等の本人が確認できる書類をご持参いただければ、スムーズに本人確認が行えます。

◎投票の流れ

会場は手続きの順路が整っています。不明な点は、気軽に会場の職員にご相談ください。

《投票率の推移》

※ いちき串木野市議会議員選挙の投票率です



ての情報と制度》



◎投票所への立ち入り

選挙人と一緒の子どもや補助者・介護者なども投票所に入ることができます。
※子どもと一緒に選挙に行きましょう。子どもにとって貴重な体験となります。

◎代理投票と点字投票

投票用紙に文字を記入できない選挙人のための制度です。投票所の投票管理者に申請すると、補助員2名が定められ、その一人が選挙人の指示に従って投票用紙に記入し、もう一人が指示どおりか確認します。また、投票所には点字投票用の用紙や点字器が用意しており、点字でも投票できます。

◎不在者投票

仕事や旅行などで、選挙期間中、名簿登録地以外の市町村に滞在している方は、滞在先選挙管理委員会で不在者投票ができます。また、指定病院等に入院等している方などは、その施設内で不在者投票ができます。

◎不在者投票指定施設（順不同）

- ・丸田病院 ・さるびあ苑 ・ライフハーバーいちき ・南洲整形外科病院 ・ゆくさ白浜 ・潮風園
- ・市来松寿園 ・吹上園 ・脳神経外科センター ・光里苑

いちき串木野市政の ここが知りたい!!

一般 質問

※一般質問とは、議員が市の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、
所信の表明を求めるもので、政策論争が行われています。

9月定例会の一般質問では、市政について6人の議員が19項目の質問をしました。

※新型コロナウイルス・インフルエンザの感染拡大防止のため、一般質問の質問時間を
通常 45分 ⇒ 30分に短縮しています。(市当局からの答弁時間は含みません。)

●一般質問の様子は、市のホームページで公開しています。動画の視聴はこちらから ⇒



※ 議会だよりの発行日が、選挙期間中となったため、
今回の一般質問内容の掲載は控えさせていただきます。

9月5日 (金)

ひがし いくよ
東 育代 議員

1. 3つの無償化について
2. 生理の貧困について
3. 動物の愛護及び管理に関する条例について

はらぐち まさとし
原口 政敏 議員

1. 障がい者支援について
2. 消防の安全対策について
3. 個人所有の水道管の漏水について
4. 大里川の早期拡幅について

よしどめ りょうぞう
吉留 良三 議員

1. 中山間地、農村のコミュニティの存続について
2. 異常気象下の熱中症対策について
3. 最低賃金引上げへの対応について

9月8日 (月)

たかぎ しょうじ
高木 章次 議員

1. 原発について
2. 洋上風力発電について

たなか かずや
田中 和矢 議員

1. 小学校の統廃合の目途と時期について
2. 20代・30代の若い女性への対策について
3. 頼れる身寄りのない高齢者について
4. 未来につながる投資の推進について

ふくだ きよひろ
福田 清宏 議員

1. 市内公共交通の再編について
2. 雇用前提の学費等の支援について
3. まぐろの魚食普及について



議会を傍聴してみませんか

本会議や常任委員会等は原則として一般に公開されており、どなたでも傍聴できます。
(9月定例会の傍聴は、延べ15人でした。) ※本会議中継は、こちらからご覧いただけます。⇒



9月定例会補正予算

10億3,022万4,000円の追加計上

梅雨前線豪雨・台風12号により被災した施設等の災害復旧費 など

《一般会計予算総額203億4,180万7,000円に》

一般会計

歳入の主なもの

●前年度繰越金 5億1,595万円

●市債の追加 2億6,450万円

農業施設整備事業債・道路整備事業債・河川事業債・公園整備事業債・消防防災施設整備事業債・公共土木施設災害復旧債・農林水産業施設災害復旧債

●寄附金 1,020万円

◆市制施行20周年記念事業寄附金 20万円
(寄附者：いちき串木野市高齢者クラブ連合会)

◆長崎鼻公園再整備事業寄附金 1,000万円
(寄附者：鹿児島プロフーズ株式会社)

歳出の主なもの

●住民基本台帳システムデータ連携環境構築事業 99万円

住民基本台帳システムに係る戸籍附票システムデータとの連携環境構築業務委託経費です。

●基金積立金 3億7,000万円

令和6年度決算剰余金を今後の公債費の償還や公共施設の整備・除却に備え、市債管理基金及び公共施設整備等基金に積み立てます。

●市長・市議会議員選挙費 19万円

公職選挙法施行令の一部を改正する政令が施行されたことに伴う補助金の追加です。

●薩摩國雇用創造協議会負担金

52万円

国の地域雇用活性化推進事業を活用し、地域の雇用構造の改善を図ることを目的とした、3市1町(阿久根市・薩摩川内市・さつま町・いちき串木野市)による協議会への事務負担金です。

●ダム管理費

300万円

串木野ダム及び市来ダム周辺環境整備に係る経費の追加です。

●農業施設維持費

850万円

農業用施設補修や農道等高所伐採経費の追加です。

●スマート捕獲等普及加速化事業

800万円

ICTを活用した有害鳥獣対策に係る経費の追加です。

問 農作物の被害を減らすためには、個体数を減らす対策を考えるべきではないのか。

答 一つの手法だけでなく、サルを寄せつけない、追い払う、捕獲する、駆除するというような取組を組み合わせ、対策を行っていく。

●林道維持費

200万円

林道の維持補修費の追加です。

●神村学園前駅管理費

42万円

神村学園前駅エレベーター修繕経費の追加です。

●公共交通維持事業

257万円

市地域公共交通計画に基づく公共交通の再編に伴ういきいきバス新規路線(3線統合路線)及び荒川地区乗合タクシーの運行に係る経費の追加です。

●公共ライドシェア事業 160 万円

市地域公共交通計画に基づく交通空白地解消に伴う公共ライドシェア運行事業に係る経費です。

●新規創業等支援事業補助金 871 万円

創業支援事業補助金、空き店舗等活用促進事業補助金（家賃・改装）、飲食店新規出店促進事業補助金の申請見込件数が増加したため、補助金を追加します。

●市道維持費の追加 6,970 万円

市道の維持補修や工事等を行います。

◆維持補修費 2,230 万円

◆工事費等 4,740 万円

工 事 予 定 路 線	工 事 内 容
旧国道線（上名地区）	舗装
海瀬線（照島地区）	舗装
駅浜町線（中央地区）	ハイウェイ灯設置
小学校松山線（川南地区）	改良
内門古瀬戸線（川上地区）	土留
宮下 1 号線（野平地区）	舗装

●道路台帳整備事業 500 万円

市道の一元管理、計画的な維持補修を行うために電子化された道路台帳について、拡幅等のあった路線の台帳更新を行うための経費です。

●交通安全施設事業費 200 万円

交通安全施設の維持補修費の追加です。

●河川維持費の追加 1,055 万円

河川の維持補修や工事等を行います。

◆維持補修費 555 万円

◆工事費等 500 万円

工 事 予 定 河 川	工 事 内 容
芹ヶ野川（旭地区）	根固工

●公園事業費 480 万円

公園の維持補修費の追加です。

●長崎鼻公園再整備事業 220 万円

長崎鼻公園再整備事業に係る委託料の追加です。

●住宅管理費 30 万円

市営住宅敷地内の草払・清掃委託料の追加です。

●Jアラート受信機更新事業 390 万円

Jアラートの受信機更新のための経費です。

問 受信機はどこに設置してあり、更新期間は何年か。

答 受信機は防災センターに 1 台設置してあり、8 年ごとの更新予定となっている。

●農業施設災害復旧費 1 億 5,799 万円

8 月豪雨及び台風 12 号により被災した農地・農業施設の復旧を行うための災害復旧費の追加です。

●林業施設災害復旧費 2,629 万円

8 月豪雨及び台風 12 号により被災した林業施設の復旧を行うための災害復旧費の追加です。

●道路河川等災害復旧費 2 億 8,012 万円

6 月・8 月豪雨及び台風 12 号により被災した道路河川等の復旧を行うための災害復旧費の追加です。

●総務施設災害復旧費 68 万円

8 月豪雨により被災した冠岳交流センターの復旧のための経費です。

特 別 会 計

国民健康保険特別会計 1,013 万円

- ◆子ども・子育て支援金制度対応システム改修事業
- ◆県支出金返還

介護保険特別会計 7,146 万円

- ◆国庫・県支出金等返還

後期高齢者医療特別会計 212 万円

- ◆子ども・子育て支援金制度対応システム改修事業
- ◆一般会計繰入金返還

決算審査

9月17日～9月19日（3日間）

決算審査特別委員会では、令和6年度の予算の使い方が適正であったか、効果や効率はどうだったかなど、執行機関に質問し審査を行いました。

認定



令和6年度会計決算状況

会計名		歳入総額	歳出総額
一般会計		188億5,715万2,226円	181億1,425万9,928円
特別会計		81億575万4,982円	79億8,181万2,625円
内訳	国民健康保険	36億445万7,619円	36億171万7,912円
	介護保険	39億2,246万5,624円	38億340万8,574円
	後期高齢者医療	5億7,883万1,739円	5億7,668万6,139円
計		269億6,290万7,208円	260億9,607万2,553円

公営企業会計		収入総額	支出総額
水道事業	収益的	7億863万1,455円	6億1,316万8,328円
	資本的	2億3,803万3,000円	5億2,479万7,865円
下水道事業	収益的	5億8,298万2,767円	5億2,144万2,774円
	資本的	3億1,805万6,070円	5億1,539万7,109円

いちき串木野市の財政力指数等

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	説明
財政力指数	0.39	0.38	0.38	財政力を示す指数で、普通交付税の算定に用いた基準財政収入額を基準財政需要額で割って得た数値の過去3年間の平均値。指数が高いほど財政に余裕がある。
経常収支比率	91.0%	90.9%	91.9%	財政構造の弾力性を判断する指標で、人件費、扶助費、公債費等の経常的経費に、税や普通交付税等の経常的な一般財源が、どの程度充当されているかを示す比率で、低いほど弾力性が高い。
地方債現在高	156億円	163億円	178億円	市の借金
基金現在高	85億円	78億円	72億円	市の貯金

一般会計：歳入の主なもの

市 税

収入済額は 30 億 1,378 万 4,671 円。令和 5 年度より 3,348 万 2,115 円の減。

地方交付税

普通交付税は 50 億 2,784 万 3,000 円、特別交付税は 9 億 9,112 万 8,000 円で臨時財政対策債を加えた実質的な地方交付税総額は 60 億 4,308 万 8,000 円。令和 5 年度より 1 億 6,420 万 8,000 円の増。

寄 附 金

ふるさと納税寄附金として全国から 12 万 407 件、17 億 4,990 万 3,508 円の寄附申込があった。令和 5 年度より 6,661 万 4,492 円の減。



ふるさと納税については、令和 6 年度から、新たにガバメントクラウドファンディングにも取り組んでおり、今後もインターネットのふるさと納税サイトの活用やパートナー企業による返礼品の充実等に努め、さらにより多くのいちき串木野ファンを獲得して、寄附額の増額を目指し取り組んでいきます。

一般会計：歳出の主なもの

総 務 費

- ◇市制施行 20 周年記念スタートアップ事業 220 万円
- ◇書かない窓口システム導入事業 245 万円
- ◇WEB プロモーション推進事業 371 万円
- ◇空き家利用促進補助金 151 万円
- ◇ふるさと納税返礼品(送料を含む) 4 億 9,863 万円

民 生 費

- ◇住民税非課税世帯に対する物価高騰対策給付金事業 1 億 1,919 万円
- ◇放課後児童健全育成事業 4,072 万円
- ◇保育士等就職支援事業 210 万円
- ◇串木野高齢者福祉センターデイサービス棟屋根外壁改修工事 2,832 万円
- ◇訓練等給付費 4 億 1,808 万円
- ◇老人保護措置費 1 億 5,523 万円
- ◇児童手当給付費 3 億 9,949 万円

- ◇保育施設等給付費 11 億 516 万円
- ◇児童発達支援給付費 2 億 4,494 万円
- ◇児童扶養手当給付費 1 億 3,457 万円
- ◇生活保護扶助費 3 億 9,434 万円

衛 生 費

- ◇予防接種事業 9,556 万円
- ◇子ども医療費助成金 8,445 万円
- ◇地域猫活動推進事業費補助金 61 万円
- ◇高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業 408 万円
- ◇環境センター・最終処分場施設運営維持管理費 3 億 9,714 万円

農林水産業費

- ◇中山間地域等直接支払交付金事業 1,866 万円
- ◇新規就農者育成総合対策事業 601 万円
- ◇林業・木材産業構造改革事業 789 万円
- ◇鳥獣被害対策実践事業補助金 1,309 万円
- ◇有害鳥獣捕獲事業補助金 1,467 万円

	イノシシ	シカ	タヌキ アナグマ	カラス	サル	計
捕獲頭数	1,339	570	364	13	2	2,288

- ◇まぐろ漁業振興対策事業 276 万円

商 工 費

- ◇いきいきバス・いきいきタクシー運行事業委託料 1,470 万円
- ◇新規創業等支援事業補助金 1,099 万円
- ◇沖ノ浜エリア活用検討事業 301 万円



沖ノ浜イメージ図

- ◇国民宿舎等活用促進事業補助金 2,750 万円



ホテルアクシアくしきの

- ◇洋上風力発電調査研究事業 1,993 万円
- ◇薩摩藩英国留学生記念館開館 10 周年記念事業 1,107 万円

土 木 費

- ◇道路維持工事費(道路 15 路線・橋梁 2 橋)
※土川線、東海大橋など 3 億 8,892 万円
- ◇道路新設改良工事(道路 4 路線)
※島内松原線など 8,610 万円
- ◇河川維持工事費
※金山山川護岸改修など 2,297 万円
- ◇長崎鼻公園再整備事業委託料 2,150 万円
- ◇住宅リフォーム事業補助金(68 件) 615 万円

消 防 費

- ◇内水氾濫監視警報システム整備事業 224 万円
- ◇防災行政無線施設整備事業 2 億 1,931 万円



教 育 費

- ◇串木野・市来農芸高等学校支援対策事業補助金 783 万円
- ◇特別支援教育支援員配置事業(17 人) 2,918 万円
- ◇小学校施設環境改善事業 476 万円
- ◇串木野小学校火災受信機改修工事 214 万円
- ◇串木野中学校施設整備実施設計業務委託 649 万円
- ◇中学校空調及び照明整備実施設計業務委託 368 万円
- ◇いちきアクアホール空調設備改修工事 1 億 7,884 万円



- ◇パークゴルフ場改修事業 1 億 3,380 万円



◇週末支援事業(放課後子ども教室・青松塾等)

152 万円

◇体験活動支援事業

127 万円

◇学校給食地産地消推進事業補助金

300 万円

◇市立小中学校の学校給食費無償化事業補助金

9,302 万円

災害復旧費

- ◇農業施設災害復旧費 3,188 万円
- ◇林業施設災害復旧費 1,938 万円
- ◇道路河川等災害復旧費 6,368 万円
- ◇教育施設災害復旧費 1,556 万円
- ◇その他公共・公用施設災害復旧費 184 万円

特別会計・公営企業会計

国民健康保険

保険税の徴収率は、現年度分が 97.9%で、令和 5 年度より 0.5 ポイントの減。

介護保険

保険料の徴収率は、99.6%で、令和 5 年度より 0.2 ポイントの増。

後期高齢者医療

保険料の徴収率は、100.2%。

※収入額に還付未済額が含まれるため 100%を超えています。

水道事業

事業収益は、予算額と比較して 2,589 万円の増。主な建設事業は、道路改良工事に伴う老朽管の布設替工事と耐震化事業に伴う住吉町、袴田、外戸、内門地区等における配水管布設替工事。

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた市民や事業者の負担を軽減するため基本料金を免除。免除額については一般会計からの補助金で補填。

下水道事業

事業収益は、予算額と比較して 500 万円の増。主な建設事業は、串木野クリーンセンターのストックマネジメント事業の建設工事。

ストックマネジメントとは…

長期的な視点で下水道施設全体の今後の老朽化の進展状況を考慮し、優先順位付けを行ったうえで、施設の点検・調査、修繕・改善を実施し、施設全体を対象とした施設管理を最適化すること。

委員からの質疑・意見（主なもの）

地域生活支援事業

障がい者（児）が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じ、柔軟な形態により効果的・効率的に支援事業を実施します。

問 障がい者の就労支援について、市内事業所の受入れが少ないようだが、市内事業所等の就労先への周知はどのように行っているか。

答 就労支援にあたっては、市独自で就労支援事業所等サポートブックを作成しており、そこで市内事業所の紹介を行っている。ただし、一般就労の希望者については、ハローワークの紹介に留まっているため、今後は、庁内での連携を密にしながら、マッチングできるよう努めていきたい。

有害鳥獣捕獲事業補助金

有害鳥獣による農林作物等への被害を防ぐために、駆除を行う猟友会に対し、捕獲頭数等に応じ、補助金を交付します。

問 有害鳥獣の捕獲頭数は年々増加しているが、鳥獣被害の現状を考えると、総体的な個体数は減少していないと感じる。荒廃地が増える中において、寄せつけない、追い払う対策も必要であるが、個体数を減らすための対策が最優先である。捕獲には猟友会の協力が不可欠であるため、猟友会の活動に対する補助の在り方を検討すべきではないか。

答 今後も担い手を確保し、継続して活動していただくため、猟期における補助の在り方や狩猟免許取得・更新に係る経費補助など、猟友会の意見を聞きながら検討したい。

道路改良特別事業

市街地の道路環境の整備（側溝布設・舗装）を重点的に行います。

問 失業対策事業で整備した道路について、側溝の目地が外れ、高齢者が歩きにくいといった状況があり、改良工事を急ぐべきではないか。

答 道路改良特別事業については、過疎債等の活用により、毎年約1億円の予算確保に努めているものの、近年の資材高騰等によりなかなか整備が進まない状況。重要なインフラであると認識しており、今後はさらに石油交付金等も活用しながら、できるだけ早い進捗に努めたい。

国民宿舎等活性化促進事業補助金

ホテルアクシアくしきの建物老朽化等による修繕等に対し、助成します。

問 一度譲渡した建物であるにも関わらず、今後も補助していく考えなのか。

答 基本的には、譲渡された側が自らの負担で老朽化による修繕を行うべきだが、施設の持つ機能が本市には必要であり、指定用途期間である令和8年9月までは、何とか存続させていくべきという考えのもと、今回補助を行った。今後は、施設維持に対して、さらに補助金を出す考えはなく、指定用途期間以降の運営がどうあるべきか、検討していきたい。

沖ノ浜活用検討事業

国有地となっている吹上浜フィールドホテル西側の沖ノ浜について、今後の利活用の方向性を検討する委員会等を設置し、構想をまとめます。

問 沖ノ浜利活用構想について。

答 沖ノ浜が持つ自然の特徴を生かし、環境と調和した施設として整備することにより、周辺施設を含めた地域全体の活性化につながる取組となるよう計画を進めていく。

学校教育専門員配置事業

生徒指導上の課題や特別支援教育に関する課題などを解決するため、学校教育専門員を配置し、乳幼児期から中学校卒業までの幼児・児童・生徒について、関係機関との連携を強化して情報を一元化し、早期対応を図ります。

問 不登校対策について、庁内連携の成果があらわれてきているのか。

答 ここ2年間、中学校の不登校数は減少傾向にあるが、小学校では増加傾向にある。不登校の原因も少しずつ変化しているので、それぞれのケースごとに、丁寧に扱っていくとともに、市として、子どもたちを高校や社会に送り出すことが責任の一つでもあることから、各部署が連携して、全体で取り組んでいきたい。



9月定例会の表決結果

議案番号	議案の件名	議決結果	
議案第43号	いちき串木野市議会議員及びいちき串木野市長の選挙における選挙運動用自動車の使用並びに選挙運動用ビラ及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第44号	地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第45号	中学校再編に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第46号	令和6年度いちき串木野市一般会計決算認定について	認 定	全会一致
議案第47号	令和6年度いちき串木野市国民健康保険特別会計決算認定について	認 定	全会一致
議案第48号	令和6年度いちき串木野市介護保険特別会計決算認定について	認 定	全会一致
議案第49号	令和6年度いちき串木野市後期高齢者医療特別会計決算認定について	認 定	全会一致
議案第50号	令和6年度いちき串木野市水道事業剰余金の処分について	可 決	全会一致
議案第51号	令和6年度いちき串木野市水道事業会計決算認定について	認 定	全会一致
議案第52号	令和6年度いちき串木野市下水道事業剰余金の処分について	可 決	全会一致
議案第53号	令和6年度いちき串木野市下水道事業会計決算認定について	認 定	全会一致
議案第54号	いちき串木野市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	全会一致
予算議案第4号	令和7年度いちき串木野市一般会計補正予算（第3号）	原案可決	全会一致
予算議案第5号	令和7年度いちき串木野市一般会計補正予算（第4号）	原案可決	全会一致
国特予算議案第2号	令和7年度いちき串木野市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致
介特予算議案第2号	令和7年度いちき串木野市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致
後特予算議案第2号	令和7年度いちき串木野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致

総務厚生委員会先進地行政視察報告書

期 日：5月13日（火）～14日（水）
調査市：佐賀県鹿島市・福岡県大川市

【鹿島市】DXの取組

外部人材（地域活性化起業人）の活用について

総務省の地域活性化起業人制度を活用し、「DMM.com」よりDX推進アドバイザーを派遣。DXの具体的な施策立案、庁内業務の効率化支援のみならず、シティプロモーションの強化や地域課題の解決に向けた新たな企画・プロジェクト推進も担っている。

てのひら市役所（市公式LINE）について

「行かない・書かない・待たない」人にやさしい役所づくりを目指して、市公式LINEの機能を拡大。オンライン申請・予約やそれに伴うキャッシュレス決済、マイナンバーカードによる本人確認等、市役所に来庁しなくても普段活用してるアプリ1つで手続きが完結できるよう機能拡充されている。

デジタルサポーターによる『スマホ相談会』について

市民がデジタルをより身近に感じられる環境づくりを進めるため、スマホの基本操作、カメラ、てのひら市役所などの相談ができる『スマホ相談会』を開催。養成研修を受講した市民12人がデジタルサポーターとして講師を務め、令和6年度は9日間開催、相談者は136人だった。

今後は、出前講座や相談会の定期的な開催に加え、地元の高校生が講師を務める相談会を実施予定。

【所感】

DX推進の流れは自治体として必須の取組であり、小規模自治体としての独自のデジタル人材の育成は難しいのが現状で、民間事業者の多くの自治体での取組事例を研究した人材の派遣活用、業務提携、DX伴走支援など、本市においても取組を検討すべきと感じた。

【鹿島市での研修の様子】



【大川市】DXの取組

外部人材（地域活性化起業人）の活用について

大川市においても、2021年より地域活性化起業人制度を活用し、「DMM.com」から人材を派遣。DXを進めるに当たり、まずは市役所全課を対象としたヒアリング、課題の洗い出しを実施、それに対するソリューションをアドバイスしてもらい、DXで解決できる部分は、機器やシステムを導入している。

「スマート公共ラボ電子申請」について

ヒアリングの結果、「情報発信に関する課題」と「窓口対応業務の負担」が表面化し、令和4年4月に『自治体LINE公式アカウント』と『電子申請サービス』を導入。

さらに令和5年1月には、この2つのサービスを掛け合わせて『スマート公共ラボ電子申請』の実証実験を開始した。このサービスは、LINE公式アカウント内の操作だけで電子申請が完結するため、他のアプリのダウンロードが不要。マイナンバーカードと連動し本人確認や電子署名といった公的個人認証が可能となっている。住民票や戸籍等の証明書交付や給付金の申請など全11種類の行政手続きに対応しているが、職員が自由にフォーム作成できる機能もあるため、必要に応じて対象手を拡大している。

実証実験を行った「出産・子育て応援給付金」では申請全体の96%がLINEからの申請であった。また申請全体のうち43%は閉庁時間帯であり、時間や場所にとらわれない申請が可能となっている。

「DXリーダー」育成研修について

DXの基礎とデジタル化の仕組みを理解し、デジタルを活用して課題解決できる人材を育成するため、令和6年1月に「DXリーダー研修」を実施。研修後のアンケートでは「実践に即しており、DXに対する意識が高まった」など参加者の90%がDXに対する理解が深まったと回答した。

その後、令和6年9月に全職員を対象とした「DXリテラシー向上研修」を実施。前回の「DX推進リーダー研修」の参加者は、この研修の中心的存在となりファシリテーションを行うことでリーダー育成の場ともなった。

【所感】

事業者として、数多くの自治体に関わって様々な地域課題への対応や、情報の共有、蓄積により常にアップデートして、またそれをフィードバックしていく取組の説明を受け、本市でも防災、まちづくり様々な分野において、民間事業者の活用を検討することで、まちの暮らしやすさにスピード感をもった対応が期待できると感じた。

産業教育委員会先進地行政視察報告書

期 日：5月14日（水）～15日（木）
調査市：宮崎県西都市・鹿児島県曽於市

【西都市】西都市公認品「西都ピカイチ」

西都市には、豊かな農畜産物や歴史文化遺産など優れたものが豊富にあるが、認知度不足により外貨を稼げていない状況があることから、西都市の良い商品・サービス等を市が認証することで地域ブランド化し、市内外へアピールすることで、市の魅力や認知度、事業者の付加価値向上を図ることを目的とし、「西都ピカイチ」制度が創設された。

認証品の審査方法は、市民審査員約100名、特別審査員約10名が一堂に会し、審査員全員による試食審査等を行っている。審査員はアピールポイント等が書かれた詳細な説明資料を読みながら試食し、審査票を基に、市民審査員は5項目、特別審査員は10項目で採点を行う。他の自治体では、有識者など一部の関係者による審査が多いが、市民100名が選ぶ地域ブランド認証という手法を取ることで、差別化を図っている。

令和7年度は第3回審査会を予定しているが、認証商品が増えていく中において、対象商品の設定を含めた事業の実施方法、事業者の経営規模や商品の保存方法に応じたPRなどが課題となっている。



【西都市での研修の様子】

【所 感】

- ・市民審査員100人と特別審査員10人、審査会を一つのイベントとして開催し、市民を巻き込む審査方法は参考になった。
- ・認証制度は、事業者のやる気を起こし、新しい商品を開発するきっかけとなり、地域活性化が図られている。継続していくためには、視点やテーマを研究しながら実施することが重要である。
- ・認定品は、認定直後は話題性もあり好評のようであったが、どう継続して売上に反映させていけるのか、課題のようである。認定された商品をブランド化に繋げていくのか、「西都ピカイチ」認定制度の価値を上げたいのか、その両方なのか検討課題と感じた。

【曽於市】廃校跡地を活用した「たからべ森の学校」

曽於市では平成24年3月に中学校3校が閉校したことに伴い、4月に曽於市閉校施設利用団体等募集要項を定め、利活用団体の公募を開始した。同時期、有限会社サイバーウェーブは新たな事業展開を模索する中において、職業訓練校の市場調査の回収作業を行ったこと、曽於市が職業訓練の空白地であったことが契機となり、市の公募と事業者による施設活用のタイミングが一致したことで、有限会社サイバーウェーブによる国の離職者向け職業訓練校としての活用が決定した。



【たからべ森の学校を視察】

たからべ森の学校

鹿児島県から委託された公共職業訓練として農業人材育成や調理加工などの訓練や雇用支援機構から委託された求職者支援訓練などを実施しており、市内だけでなく、市外からも多くの受講者がいる。

たか森「カフェ」

職業訓練校だけでなく、地域の方が気軽に立ち寄れる場所、交流できる場所をめざし、カフェを運営している。訓練で使用している学校農園で生産した野菜を使用した料理やジビエバーガーなどを提供している。

たからべ森の学校「星の宿」

地方創生拠点整備交付金を活用し、学校を宿泊施設として整備している。体育館やグラウンドがあるため、部活動の合宿での利用が主である。

【所 感】

- ・廃校跡地を民間事業者による公共職業訓練施設として活用し、市内外から多くの受講者がいる。「農業人材育成科」は素晴らしい取組であり、本市にも特色のある学科を誘致できないか調査する余地があると感じた。
- ・本市には市立ハローワークもあることから、求人状況や求職者の意見を基に、市内での就業につながるような学科の設置など検討してみてもどうか。
- ・一つの企業により、3期に渡り継続活用されていることは参考になる。本年も来年3校が閉校となる。地域住民にとっては、学校を活用することが重要であり、市民が元気になる施設となるよう、取組事例等を参考としたい。

令和7年第5回 臨時会の日程(案)

第5回臨時会を下記の日程で行います。
今後の状況により、変更になることもあります。

月 日(曜日)	内 容
11月21日(金)	本会議

令和7年第6回(12月) 定例会の日程(案)

第6回(12月)定例会を下記の日程で行います。
今後の状況により、変更になることもあります。

月 日(曜日)	内 容
12月 3日(水)	本会議(開会日・議案質疑)
12月11日(木)	本会議(一般質問)
12月12日(金)	
12月15日(月)	常任委員会(総務厚生委員会)
12月16日(火)	常任委員会(産業教育委員会)
12月25日(木)	本会議(最終日)

※開会はいずれも午前10時からです。

表紙写真募集!

令和8年2月発行号の表紙写真を募集します。

応募期限は
1月5日まで。

※詳しくは市のホームページをご覧ください。

議会だより 🔍 検索



本号に、2名の方からご応募いただきました。
ご協力いただき誠にありがとうございました。

議会の動き(令和7年8月～10月)

8月

- 6日 和泊町議会行政視察受入れ
- 7日 市町村政研修会
- 19日 議会運営委員会
- 20日 議員研修会
議員全員協議会
- 26日 議会運営委員会
- 28日 議員全員協議会
本会議(開会日・議案質疑)

9月

- 5日 一般質問
議員全員協議会
- 8日 一般質問
- 9日 常任委員会(総務厚生委員会)
- 10日 常任委員会(産業教育委員会)
- 17日～19日 決算審査特別委員会
- 19日 議会広報特別委員会
- 26日 議会運営委員会
- 30日 議員全員協議会
本会議(最終日)
議会広報特別委員会

10月

- 3日 埼玉県本庄市議会行政視察受入れ
- 10日 議会広報特別委員会
- 14日～16日 鹿児島県市議会議長会政務調査
- 20日 議会広報特別委員会



編集後記

これまで今期4年の後半2年間を「議会だより」の編集に携わってきました。
市議会の仕組みや選挙制度についての特集ページ、表紙写真の一般公募など、市民の皆様に市議会を身近なものとして感じて貰えるよう工夫を重ねてまいりましたが、いかがだったでしょうか。

今後も引き続きご愛読くださいますよう、よろしくお願いいたします。

(議員広報特別委員一同)

議会広報特別委員会

委員長 西田 憲智
副委員長 東 育代
委員 高木 章次
// 江口 祥子
// 福田 清宏